



8月23日に大阪で開催された第7回全国高校生観光プランコンテストで、鳥羽高校の生徒でつくられた「とばっこくらぶメンバー」が出場し、優秀賞を受賞しました。

鳥羽高校のプランは「もういちど、家族。がいえぞ答志島～絆を深める結びの旅」で、答志島の独特的風景や宿泊制度を体験し、家族との絆を確認するものです。

部長の大山耕輝さんは「トラブルもありましたが、練習以上の力が發揮できた」と語ってくれました。

鳥羽高校が観光プランコンテストで優秀賞受賞



8月21日、市民文化会館で「鳥羽一郎がプロデュースする昭和の海女アイドル」のオーディションを開催し、鈴木みゆきさん（写真左）と出間りかさんが合格しました。2人は安楽島町在住の現役海女さんで、朝市を開催する「安楽島新鮮組」としても活躍しています。

2人は「応募した時には、まさか自分が合格するとは思ってもいなかった」と驚きを隠せない様子でした。また「決まったからには、日本一海女の多いまちを全国にPRしていきたい」と語ってくれました。

今後は、12月にCDデビューをし、東京で開催されるCD発売イベントに鳥羽一郎プロデューサーと出演する予定です。



8月24日～27日に、長崎県五島市の福江島で第8回全国離島交流中学生野球大会が開催され、鳥羽市代表として、答志中学校（14人）と鳥羽東中学校に通う菅島在住の生徒（4人）で構成された「鳥羽選抜」チームが出場しました。

1回戦では沖縄県久米島町代表の「久米島イーグルス」チームと対戦し、惜しくも敗れましたが、交流戦では愛媛県上島町代表の「KAMIJIMA」チームと対戦し、見事勝利を収めました。

キャプテンの橋本竜誠くん（答志3年）は「全国の離島の中学生と交流し、共に野球ができた良かった」と話してくれました。

離島甲子園で全国の離島と交流



市では、8月から「海女後継者」2人と「第1次産業振興」1人の地域おこし協力隊を委嘱しており、8月28日に委嘱状の授与を行いました。

海女後継者には、東京都出身の上田桃子さんと大野愛子さんが、第1次産業振興には、愛知県出身の佐藤慎也さんが選ばされました。

今後、上田さんと大野さんは石鏡町で、佐藤さんは浦村町で活躍していただきます。

地域おこし協力隊を応援しよう

鳥羽市公認 昭和の海女アイドル誕生